

入域観光客数概況について

2025年10月30日（木）
OCVB

1. 入域観光客数概況（25年4月～9月実績、10月～12月見通し）

	10月	11月	12月
※航空会社ヒアリングならびに沖縄県内発着便の提供座席数より推測			
国内空路			
海外空路			
※クルーズ客船の寄港予定より推測			
国内海路			
海外海路			

〈OCVB観光天気予報〉	
	対前年 105%以上水準
	対前年 100%以上-105%未満
	対前年 95%以上-100%未満
	対前年 90%以上-95%未満
	対前年 90%未満水準

			4月(実績)	5月(実績)	6月(実績)	7月(実績)	8月(実績)	9月(実績)	上期 計	10月(予測)	11月(予測)	12月(予測)	10-12月 計
2025年度	空路	国内	617,900	588,300	595,800	701,900	780,400	681,000	3,965,300	720,000	680,000	650,000	2,050,000
		海外	168,300	166,700	169,800	177,600	202,200	173,400	1,058,000	186,000	172,000	178,000	536,000
		合計	786,200	755,000	765,600	879,500	982,600	854,400	5,023,300	906,000	852,000	828,000	2,586,000
	海路	国内	3,000	12,700	3,900	2,300	3,000	3,900	28,800	4,200	3,200	2,300	9,700
		海外	93,400	74,900	69,400	65,800	89,400	89,700	482,600	84,000	92,000	92,000	268,000
		合計	96,400	87,600	73,300	68,100	92,400	93,600	511,400	88,200	95,200	94,300	277,700
	空路海路合計		882,600	842,600	838,900	947,600	1,075,000	948,000	5,534,700	994,200	947,200	922,300	2,863,700
	国内合計		620,900	601,000	599,700	704,200	783,400	684,900	3,994,100	724,200	683,200	652,300	2,059,700
	海外合計		261,700	241,600	239,200	243,400	291,600	263,100	1,540,600	270,000	264,000	270,000	804,000
	前年度比	空路	国内	105.1%	105.1%	104.1%	101.8%	101.9%	107.6%	104.1%	104.6%	107.5%	106.5%
海外			156.6%	149.5%	140.4%	132.4%	150.6%	138.3%	144.2%	150.2%	145.8%	136.0%	143.8%
合計			113.0%	112.5%	110.4%	106.8%	109.1%	112.7%	110.6%	111.5%	113.5%	111.7%	112.2%
海路		国内	56.6%	635.0%	73.6%	88.5%	111.1%	243.8%	147.7%	71.2%	72.7%	127.8%	80.2%
		海外	181.7%	200.3%	140.2%	73.9%	88.8%	126.5%	121.0%	122.4%	163.1%	125.7%	135.2%
		合計	170.0%	222.3%	133.8%	74.3%	89.4%	129.1%	122.2%	118.4%	156.6%	125.7%	132.0%
空路海路合計		117.3%	118.6%	112.2%	103.5%	107.1%	114.1%	111.6%	112.1%	116.8%	113.0%	113.9%	
国内合計		105%	107%	104%	102%	102%	108%	104%	104%	107%	107%	106%	
海外合計		165%	162%	140%	109%	124%	134%	136%	140%	151%	132%	141%	

■ 概況

国内入域：

- ・ 10月以降の入域客数は真夏を避けた旅行需要が高まり、石垣・宮古などの離島を含む沖縄が温暖で過ごしやすいたくに加え、修学旅行が本格化する時期に入り、好調に推移している。
- ・ 「MITSUI OCEAN FUJI」や大型クルーズ船「MSCベリッシマ」は那覇発着のフライ&クルーズ商品が計画されており、秋口にかけて数多くの入港が予定されている。

海外入域：

- ・ 空路は10月前半に国慶節などの連休も重なり、台湾や韓国からの需要が好調に推移している。さらに、10月1日から韓国清州＝那覇線、12月15日から那覇＝シンガポール線が就航し、新たな需要拡大が期待されている。
- ・ 石垣/下地島発着の直行便は、台北や韓国仁川を中心に需要が好調に推移しているが、需要が高まる夏ダイヤ終了に伴い、一部連休も予定されている。
- ・ 海路は、台湾発の海外クルーズを中心に好調に推移している。石垣港や平良港へは、香港や厦門発のクルーズ船の入港も多く予定されている。

過年度実績については、沖縄県の[入域観光客概況](#)をご確認ください。

入域観光客数概況について

1. 入域観光客数概況（25年4月～9月実績、10月～12月見通し）

10月

空路

（国内）72万人（24年10月対比104.6%）と見込む。

（海外）18.6万人（24年10月対比150.2%）となる見通し。

清州（韓国）＝那覇路線

（新）エアロK航空：10月1日～新規就航（デیلیー）

香港＝下地島/石垣路線

香港エクスプレス：10月26日～運休

台北＝下地島

スターラックス航空：10月25日～運休

台北＝石垣

チャイナエアライン：10月26日～運休

タイガーエア台湾：10月26日～運休

海路

（国内）4,200人（24年10月対比 71.2%）となる見通し。

（海外）8.4万人（24年10月対比122.4%）となる見通し。

クルーズ船寄港回数：30回（24年10月：20回）

国内クルーズ：9回（那覇・横浜発）那覇発着のフライ&クルーズ6回含む

海外クルーズ：21回（台湾/基隆・香港・中国/上海、厦門、深圳）石垣港・平良港のみ寄港は5回。

11月

空路

（国内）68万人（24年11月対比107.5%）と見込む。

（海外）17.2万人（24年11月対比 145.8%）となる見通し。

仁川（韓国）＝那覇路線

ティーウェイ航空：11月2日～3月27日 増便（週4便 月水金日）

海路

（国内）3,200人（24年11月対比72.7%）となる見通し。

（海外）9.2万人（24年11月対比163.1%）となる見通し。

クルーズ船寄港回数：37回（24年11月：18回）

国内クルーズ：10回（那覇・東京・神戸発）那覇発着のフライ&クルーズ7回含む

海外クルーズ：27回（台湾/基隆・香港・中国/上海、厦門、深圳・仁川）石垣港・平良港のみ寄港は12回。

12月

空路

（国内）65万人（24年12月対比 107.4%）と見込む。

（海外）17.8万人（24年12月対比 136%）となる見通し。

シンガポール＝那覇路線

（新）スクート航空：12月15日～ 新規就航（週3便 月水日）

台南＝那覇路線

（新）タイガーエア：12月25日～3月28日 定期チャーター便就航（週2便 木日）

海路

（国内）2,300人（24年12月対比 127.8%）の見通し。

（海外）9.2万人（24年12月対比125.7%）となる見通し。

クルーズ船寄港回数：23回（24年12月：23回）

国内クルーズ：9回（那覇発）すべて那覇発着のフライ&クルーズ

海外クルーズ：14回（台湾/基隆・香港・中国/上海、厦門、南沙）石垣港・平良港のみ寄港は4回。

（空路）国内：県外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定のうち、観光客の混在率をかけたもの

海外：海外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定

（海路）国内：乗船客数想定のうち日本国籍のもの

海外：乗船客数想定のうち日本以外の国籍のもの

※国内クルーズ⇒発地が国内 海外クルーズ⇒発地が海外

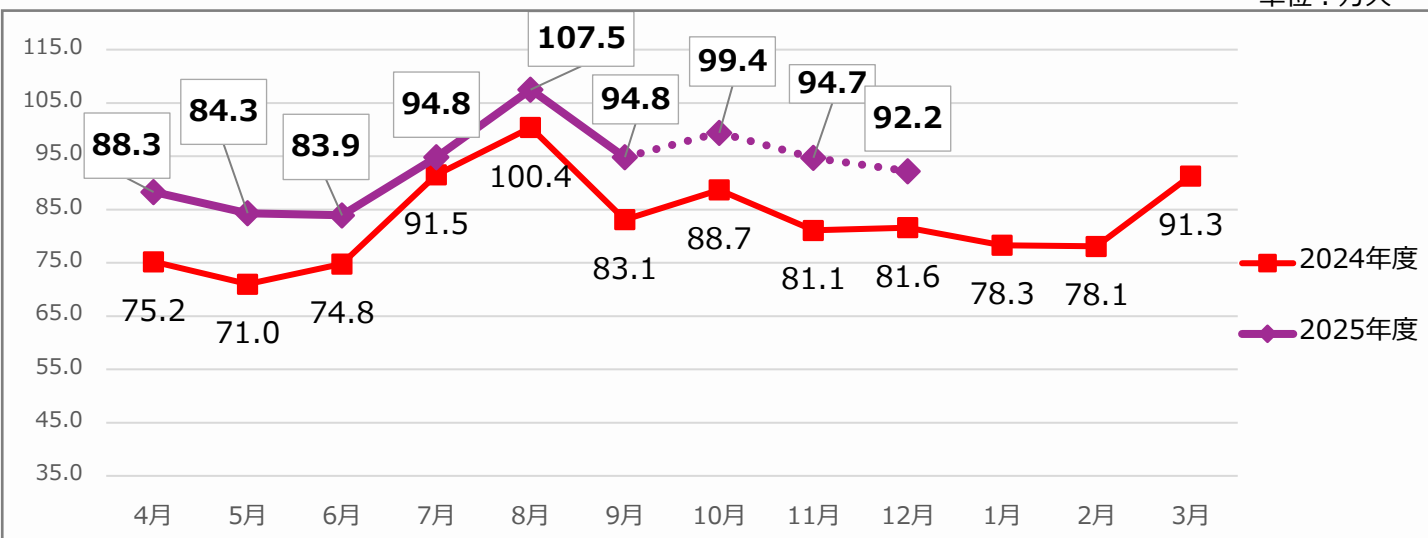
入域観光客数概況について

2025年10月30日（木）
OCVB

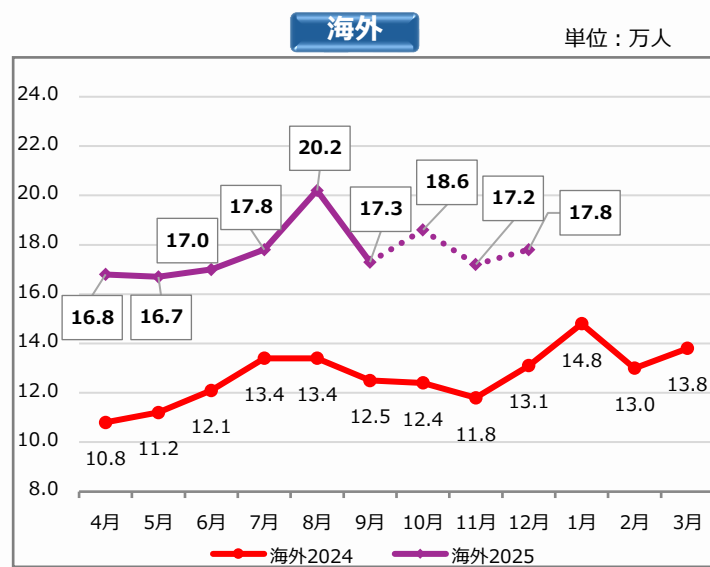
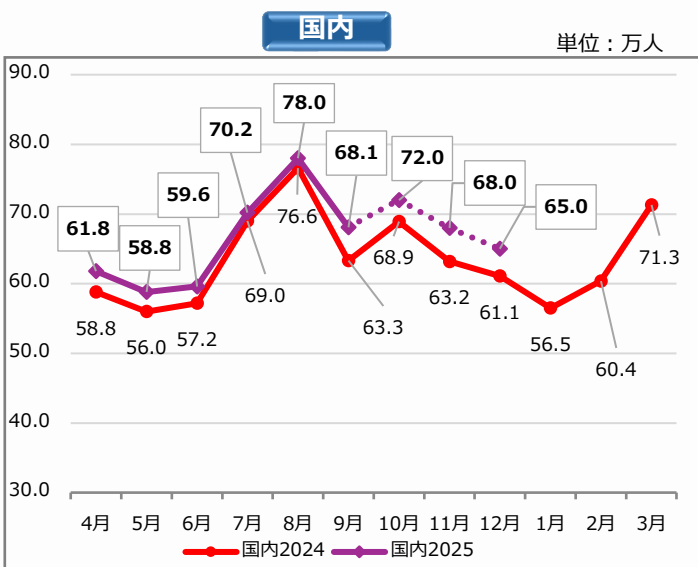
2. 入域観光客数概況グラフ

入域観光客（合計）

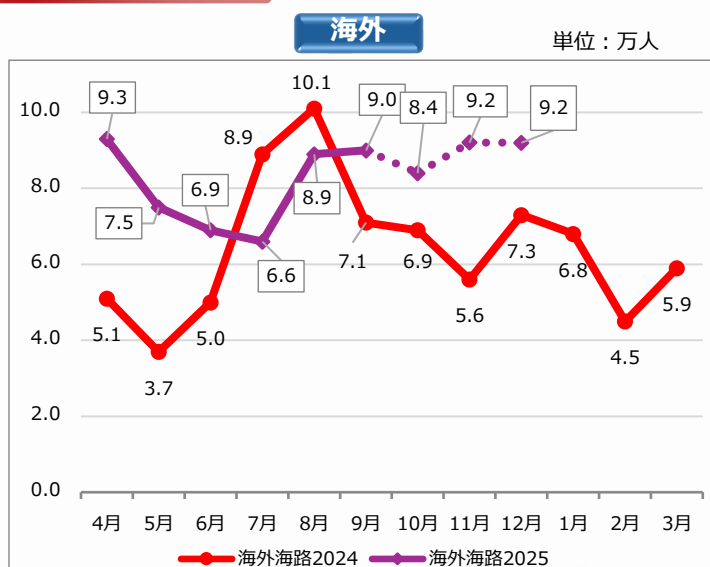
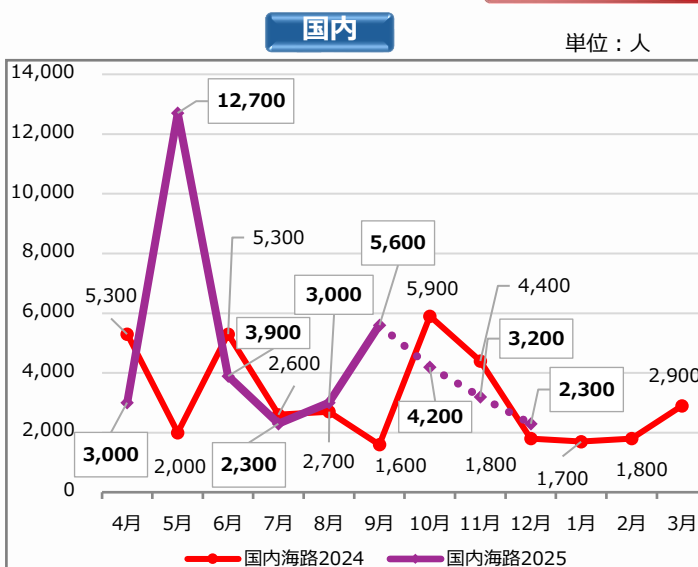
単位：万人



入域観光客（空路）



入域観光客（海路）



（参考）2025年暦年 入域観光客数について

2025年暦年予測 10,875,600人**…過去最高年の2019年(10,163,900人) を超える見込み**

■概況

空路：（国内）7,897,300人 （海外）2,010,900人

海路：（国内）45,100人 （海外）922,300人

【合計】 10,875,600人

・空路は過去最高の入域観光客数を超える見込み

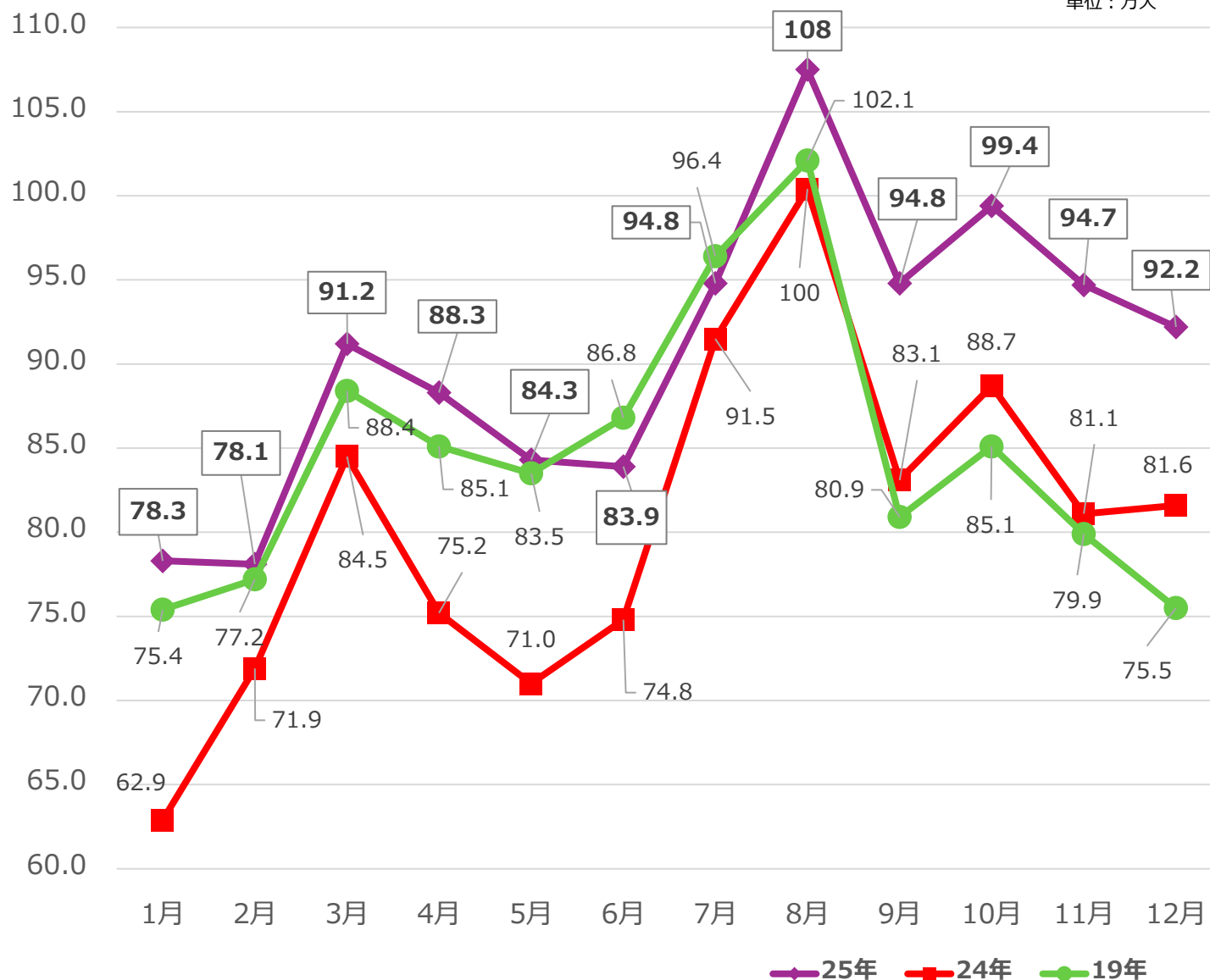
…国内空路過去最高年：2024年 7,495,900人 海外空路過去最高年：2018年 1,780,000人

・海路は国内・海外ともに前年度からは増加傾向にあるものの、コロナ前の水準にはまだ届いていない

…国内海路過去最高年：2019年 61,500人 海外海路過去最高年：2019年 1,247,600人

入域観光客（暦年）

単位：万人



国慶節等連休期間は中国が8連休、韓国が7連休

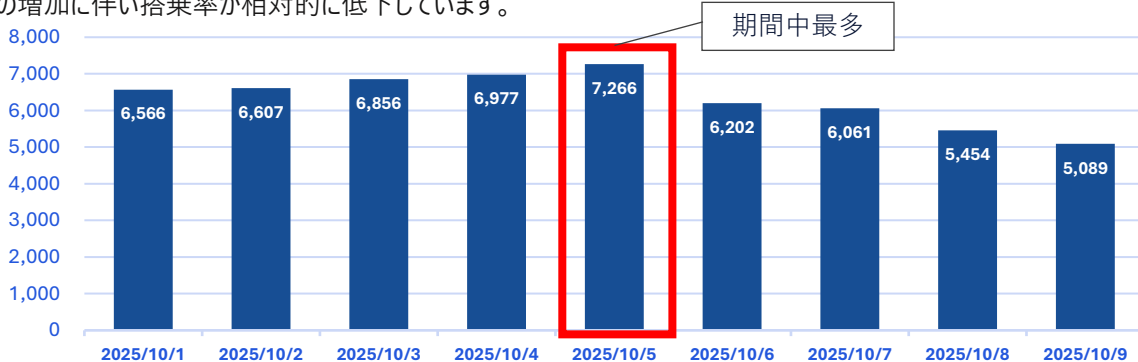
10月1日は中華人民共和国の建国記念日で、春節と並ぶ大型連休となります。また韓国でも秋夕（チュソク）と呼ばれる祝日があり、大型連休が設定されています。連休期間中は、中国、韓国、台湾、香港市場を中心に海外への旅行が活発となり、例年、日本にも多くの観光客が訪れています。

国慶節等連休期間中の連休スケジュール（10/1～10/9）

国・地域名	連休期間	備考
中国	10月1日（水）～10月8日（水）	8連休
香港	連休の設定なし	国慶節、中秋節
韓国	10月3日（金）～10月9日（木）	7連休
台湾	10月4日（土）～10月6日（月）	3連休

一日あたりの来訪者数は平均6,300人

沖縄観光コンベンションビューロー（以下、OCVB）が独自に実施した海外航空会社21社へのアンケート調査によると、期間中（10/1～10/9）の国際就航路線（到着便）の利用者数が**約57,000人**となることがわかりました。また、調査対象期間中の一日あたりの平均来訪者数は**約6,300人**となり、中でも10月5日（日）が最も多く**7,266人**となったことがわかりました。※10月5日は運航便数が多いため搭乗者数が最多となっています。一方、供給座席数の増加に伴い搭乗率が相対的に低下しています。

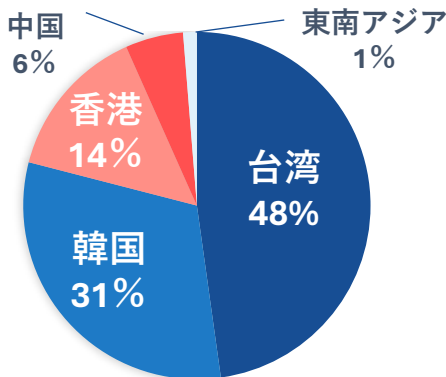


期間中は高い搭乗率で推移 満席の便も多数

期間中に訪れた来訪者の市場構成比率では、台湾が約半数となる48%となり、次いで韓国31%、香港14%、中国6%、東南アジア1%の順となりました。期間中は、満席となる便も多くあり、連休の前半から中盤となる10月1日～7日までは搭乗率が80%を超える高水準で推移していたことがわかりました。

来沖者数（国・地域別割合）

全路線平均搭乗率（日別）



10月1日	10月2日	10月3日	10月4日	10月5日	10月6日	10月7日	10月8日	10月9日
91%	93%	95%	94%	89%	87%	80%	78%	75%

国・地域別搭乗者数

台湾	27,278
韓国	17,822
香港	8,170
中国	3,079
東南アジア	729
合計	57,078

調査概要

調査対象：沖縄（那覇・下地島・石垣）に定期便を運航する海外航空会社 21社
対象期間：2025年10月1日（水）～10月9日（木） ※9日間
調査方法：メール・オンラインフォームによるアンケート方式
調査内容：対象期間中の搭乗者数及び利用率

国慶節等連休期間中に57,000人が来沖 ～台北、台中、仁川、釜山路線が好調～

国際航空路線の回復がインバウンド客の回復を後押し

2025年10月1日時点で沖縄に発着する国際線定期便の就航会社数は22社、コロナ前に就航数がピークとなった2019年7月の週256便を上回る週267便となり、過去最多の便数となりました。

2019年7月と2025年10月の週間運航便数から算出した回復率は、台湾111%、韓国100%、タイ414%と順調に回復しています。特に、コロナ前は就航していなかったエリアからの新規就航や、下地島空港、石垣空港への新規就航などが全体の就航便数の増加を後押ししており、国際線定期便の回復が、国慶節連休期間中の高い搭乗率に繋がったものと考えられます。

また、県内宿泊施設に個別に実施したヒアリングでは、「国慶節連休期間中に東アジアからのインバウンドの利用客が増えたことによる売り上げの変化があった」という声や、「大型連休（チュソク）の影響で韓国お客様の動きがあった」という声があり、国際航空路線の回復に伴い、昨年度よりもインバウンドの動きが活発になっていると感じているという声が多くありました。

今後のプロモーション方針

直行便が多く就航している台湾、韓国、香港は成熟市場となることから、今後はモノ消費が中心のゴールデンルートとの差別化を図るため、地方の魅力が伝わるコト消費による量から質への転換を目指しプロモーションを展開します。

また、回復が低調な中国市場においては、コロナ以降変化した個人旅行動向に対応するべく、旅行地としての沖縄の認知度向上を図るため、旅マエでのSNS媒体での発信を強化してまいります。

○本年度内の今後のプロモーション予定（リアルプロモーション関連）

国・地域	プロモーション内容	目的	実施時期
台湾	ITF2025開催に伴うトップセールス（浜田会長他） 展示会出展（台北国際旅行博ITF2025）	消費額増・滞在日数延伸 離島路線認知度向上	2025年11月
韓国	展示会出展（トラベルショーCOEX2025）	消費額増・滞在日数延伸 離島路線認知度向上	2025年11月
香港	展示会出展（DRT SHOW香港）	ダイビングコンテンツ訴求 （消費額増）	2025年12月
タイ	展示会出展（FITフェア2025）	路線認知度・利用率向上	2025年11月

期間中のクルーズ船寄港は計15隻

国慶節等連休期間中に中国、台湾、香港等から寄港したクルーズ船は、**那覇港9隻、宮古港3隻、石垣港3隻の計15隻**となり、中国市場においては上海や深圳からの大型船の入港が目立ちました。昨今は、那覇だけでなく、離島港への寄港も人気が高まっており、離島の上に寄港した船もありました。

※クルーズ船の乗船者数については、入港からおおむね2か月後に確定値が集計されるため本リリースの集計値からは除外しています。

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

海外・MICE部 海外プロモーション課 担当：黒島、奥平

TEL:098-859-6127 Mail: asean@ocvb.or.jp

OCVBと長野県観光機構との連携協定に基づく取組みについて

JTA松本チャーター便運航決定！空港歓迎式の実施について

OCVBでは、「長野県観光・教育旅行商談会」の開催にあわせ、長野県、長野県観光機構および関係事業者がJTAチャーター便にて来沖することから、両県のさらなる観光および経済交流の促進を目的に、那覇空港にて歓迎式を実施いたします。 ※松本空港-那覇空港間を結ぶJTAチャーター便は、2021年に初めて実施され、今年が6回目になります。

【空港歓迎式 概要】

搭乗便：JTAチャーター便（ボーイング737-800）
日 時：2025年11月3日（月・祝）松本発11：05⇒13：50那覇着
場 所：那覇空港 1F到着ロビー（予定）
内 容：歓迎セレモニー（横断幕にてお出迎え・ノベルティ配布 ほか）



「長野県観光・教育旅行商談会」の実施について

令和5年6月に締結された「OCVBと一般社団法人長野県観光機構との連携に関する協定」に基づき、長野県及び長野県観光機構による沖縄県内での「長野県PR商談会」が開催されます。

参考：OCVB、長野県観光機構とMOU締結 ～沖縄・長野間のDMO連携強化、観光産業振興と地域社会の発展にむけて～（2023年6月6日）
<https://www.ocvb.or.jp/topics/4085>

【商談会 概要】

内 容：沖縄県内の旅行会社、観光関連事業者を対象に、長野県の観光資源や教育旅行などのPRを行い、県間交流および相互送客の強化を図ります。

日 時：2025年11月4日（火）13：30～16：30
（13：30～長野観光・教育旅行説明会、14：45～商談会）

会 場：オリオンホテル那覇 地下1階「ガジマル」

参加者：【長野県】志賀高原、湯田中温泉、白馬村、安曇野市、茅野市（蓼科高原）等 8社
【沖縄県】沖縄県教育庁、沖縄ツーリスト、近畿日本ツーリスト、沖縄JTB、JATA等 14社

主 催：長野県・長野県観光機構

協 力：沖縄県・沖縄観光コンベンションビューロー（OCVB）

今後の取組み～FDAプログラムチャーター便が運航します～

OCVBと長野県観光機構では、12月に那覇－松本間のプログラムチャーター便の運航を予定しており、就航時には空港歓迎式を実施予定です。また、那覇－松本間のチャーター便は現在、航空券販売中ですので、県民の皆さまにもぜひご利用いただければ幸いです。

OCVBでは、今回の取組みを契機として、長野県との継続的な観光交流や商品造成、さらに双方の地域の魅力発信に向け、長野県観光機構と更なる連携に努めてまいります。

【空港歓迎式 概要】

搭乗便：FDAチャーター便（FDA7675便/エンブラエル 170/同 175）
日 時：2025年12月10日（水）松本発15：15⇒18：15那覇着
場 所：那覇空港 1F到着ロビー（予定）
内 容：歓迎セレモニー（横断幕にてお出迎え・ノベルティ配布 ほか）



【12月那覇⇄松本間のプログラムチャーター便情報】

運航日：2025年12月10日（水）、11日（木）、13日（土）、16日（火）、19日（金）、22日（月）、25日（木）

運航計画：12便 ※今後変更される可能性があります。

詳 細：<https://www.fujidream.co.jp/charterflight/mmj-oka/>

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 国内プロモーション課 担当：城間

TEL：098-859-6125 Mail：domesticpr@ocvb.or.jp

修学旅行市場について

国内修学旅行の動向について

沖縄県を訪れる修学旅行生は、令和5年度実績で339,152名（1,933校）です。コロナ前の平成30年度と比較すると約8割の回復となっており、その発地別では東京都が第1位、次いで大阪府が第2位となっています。

旅行会社や学校へのヒアリングによると、旅費の一人当たり上限額が定められていることから、物価高騰による価格の上昇に対応しきれないという声が多く聞かれます。また、少子化等の影響もあり学校ごとの人数規模も縮小傾向となっている現状があります。一方で、沖縄への修学旅行ニーズは依然として高く、旅行会社からは「学校から要望があっても応えられない」という声も上がっています。

なお、日本修学旅行協会の調査によると、令和5年度都道府県別旅行先では、高等学校において沖縄は第1位（構成比12.8%）、中学校では第7位（構成比3.5%）となっており、これはコロナ前（平成30年度）と同順位です。

また、令和6年6月には日本バス協会が文部科学大臣に対し、修学旅行実施時期分散化への対応を要望し、同年12月には文部科学省が全国の教育委員会および小中学校、高等学校などに集中期を避けて修学旅行を実施するよう呼び掛けるなど、実施時期分散化に向けた動きが見え始めています。

令和7年度 沖縄修学旅行相談会in大阪 開催について

沖縄への修学旅行を検討している学校関係者及び旅行会社へ向けて、沖縄修学旅行の魅力や、学習効果を広く発信し、本県での修学旅行誘致促進に資することを目的に市場の大きな大阪にて沖縄修学旅行相談会を開催します。

本催事では、沖縄修学旅行の説明のほか、航空会社のプレゼンテーション、実施校の体験談、県内事業者のミニPRタイム、個別相談などを行う予定です。催事開催に伴い、参加される学校関係者の方を対象に会場までの交通費を一部支援いたします。詳細は下記URLからイベントページよりご覧ください。

URL：<https://education.okinawastory.jp/support-and-event/88525/>

名 称：沖縄修学旅行相談会in大阪

開催日時：令和7年12月18日（木） 午前の部 10：00～13：00
午後部 15：00～18：00 ※各会開催30分前より開場

開催場所：コングレコンベンションセンター ルーム2+3
（大阪府大阪市北区大深町3-1グランフロント大阪北館）

参加申込：申込Webフォームよりお願いいたします。（<https://forms.gle/s662qYis5vAjh6HY6>）

令和7年度 教育旅行推進強化事業

2025 沖縄修学旅行 相談会in大阪

学校関係者・旅行会社を対象に
実施校の体験談や支援情報をお届けします！
沖縄県内の体験プログラム提供事業者も多数参加！

実施校の体験談は貴重情報源！

担当者の顔が見える相談会

遠方からのご参加は交通費支援あり

日時・会場
令和7年12月18日(木)
[午前の部] 10:00～13:00
[午後部] 15:00～18:00
コングレコンベンションセンター
ルーム2+3
大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪北館

予定内容
・主催者プレゼンテーション
・沖縄修学旅行実施校体験談
・県内事業者紹介
・個別相談会

交通費支援
学校関係者の方を対象に、会場までの交通費を一部支援いたします。（上限あり）

参加申込・交通費支援は
↓こちらからどうぞ↓

問合せは
こちら

沖縄観光コンベンションビューロー
098-859-6129 / 03-5220-5311
shuryo@ocvb.or.jp

主催 沖縄県 OCVB
後援 公益財団法人全国修学旅行研究協会
公益財団法人日本修学旅行協会



令和7年度 沖縄修学旅相談会in東京の様子

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 受入推進課 担当：比嘉

TEL：098-859-6129

Mail：shuryo@ocvb.or.jp

「観光業従事者を対象とした従業員満足度調査」の実施について

「観光業従事者を対象とした従業員満足度調査」を実施しています

OCVBでは、沖縄県より観光人材育成・確保促進事業を受託しており、「観光業従事者を対象とした従業員満足度調査」を実施しております。

観光業において人材不足や若年層の早期離職が課題となっている一方で、長年勤務している方や、今後も観光業で働き続けたいという方が多くいらっしゃいます。観光業で働く従業員の方々の仕事に対する満足度を調査し、人材不足解消に向けた今後の事業計画の参考にすることを目的に実施する調査です。つきましては、調査の周知・回答のご協力を頂きますと幸いです。

調査対象：沖縄県内の観光関連業従事者（経営者・役員・理事等を除く）

調査期間：令和7年11月30日（日）回答締切

回答方法：専用ページからご回答ください

※完全匿名で、個人名や会社名が特定されることはありません。

※調査の結果は公表し沖縄県の施策立案等に活用します。

※ご回答いただいた方の中から抽選で50名様に1,000円分のギフト券をプレゼントいたします。

●回答専用ページはこちら



URL : <https://questant.jp/q/L64FI1J9U>

●詳細・チラシのダウンロードはこちら



URL : <https://www.ocvb.or.jp/topics/4675>

（参考）昨年度（令和6年度）の調査結果について

【結果概要】

○業界や勤務先を決定するうえでの重要度について、「待遇（給与・賞与など）」が最も重要視されている傾向にある。

○現在の仕事（勤務先）に対する満足度では、「職場環境（立地、設備など）」や「職場の人間関係や信頼関係」、「働き方の柔軟性」において満足度が高い結果となった。一方、「待遇（給与・賞与）」については満足度が低い傾向にあり、重要度とのミスマッチが考えられる。

○観光業界での勤続意向では、働き続けたいと考えている従事者が73.5%を占めている。働き続けたい理由について、「観光業の仕事が好きだから」という回答が最も多い。

○現在働いている会社での勤続意向については、働き続けたいと考えている従事者の割合は約72%となった。また、年齢が高い従事者ほど勤続意向も強い傾向にある。働き続けたい理由としては、「職場の雰囲気や同僚との関係が良好であるため」という回答が最も多く挙がっていた。

○有給休暇の取得について、約8割の従事者が有給休暇を取得できる（いつでも気兼ねなく取得することができる＋調整は必要だが、取得することができる）という結果となった。

令和6年度観光人材育成・確保促進事業「観光業従事者を対象とした従業員満足度調査」実施結果について詳細はこちらをご覧ください。

URL : <https://www.ocvb.or.jp/topics/4523>



【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 受入推進課 観光人材育成センター

担当：具志堅・知名

TEL：098-859-6129

Mail：ikusei@ocvb.or.jp

「観光人材戦略セミナー」の開催について

「観光人材戦略セミナー～人手不足時代に選ばれる職場になるために～」を開催します

OCVBでは、沖縄県より令和7年度観光人材育成・確保促進事業を受託しており、OTSサービス経営研究所と共催で、「観光人材戦略セミナー～人手不足時代に選ばれる職場になるために～」を開催いたします。

コロナ禍前を上回る観光需要の中、沖縄の観光業界では人手不足が続いています。人材の確保（採用）を強化することはもちろん重要ですが、それだけでは人手不足の問題は解消しません。新たに採用した人材だけでなく、今いる従業員をいかに定着させるか、採用と定着の両輪を強化していかなければなりません。

本セミナーでは、沖縄県内の観光関連事業者の 経営者・管理職・人事担当者 を対象に、人材を定着させる取り組みの根幹となる「人を大切にする」を体現する企業の事例共有、その実現に向けた具体的な人材採用・定着の手法について、ご紹介いたします。

人材確保にお悩みの事業者の皆さまは、ぜひセミナーへご参加ください。

日時：令和7年11月14日(金)13:00～17:00

会場：浦添市産業振興センター結の街 大研修室（〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4丁目13-1）

対象：沖縄県内観光関連企業の経営者・管理職・人事担当者

開催形式：ハイブリット形式（会場＋オンライン）

参加費：無料

内容

第1部 講演

「ひとを大切に組織とは？」 登壇：吉江 潤氏 ハレクラニ沖縄 初代総支配人(開業準備室も率いる)

第2部 人材戦略セミナー

「人材採用力を最大化する方法」 講師：久保 亮吾氏 株式会社リクラブ代表取締役

「定着する組織づくり」 講師：波上 こずみ氏 株式会社Cosmic Consulting代表取締役

どの会社にもある“人材の悩み”

✓ 求人を出しても
応募がこない



✓ 採用しても
人材がなかなか
定着しない



✓ 慢性的な人材不足で
既存社員が
疲弊している



今の人手不足の原因は“人材定着”の取り組みが
足りていないかもしれません

人材確保にお悩みのあなたこそセミナーの受講をオススメします！

●お申込みはこちら



URL：<https://forms.gle/NFC5p2bDSJ4KvFZG9>

●詳細・チラシのダウンロードはこちら



URL：<https://www.ocvb.or.jp/topics/4677>

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 受入推進課 観光人材育成センター

担当：具志堅・知名

TEL：098-859-6129

Mail：ikusei@ocvb.or.jp

EASL 2025-26 SEASONを活用した台湾プロモーションについて

バスケットボール 東アジアスーパーリーグ（EASL）試合会場にて、沖縄でのバスケットボール観戦をPR

OCVBでは、東アジア地域におけるスポーツ観光市場の拡大を目的として、EASL（East Asia Super League／東アジアスーパーリーグ）との連携を通じたプロモーションを展開いたしました。本プロモーションでは、台湾・台北市で開催された「琉球ゴールデンキングス vs 桃園パイアンパイロッツ戦」および「宇都宮ブレックス vs 台北富邦ブレーブス戦」を活用し、台湾のスポーツファンに向けて「沖縄でのバスケットボール観戦」を旅行動機として訴求いたしました。また、令和8年2月4日（日）に沖縄サントリースターズで予定されているゲームの開催を契機として、アウェイツーリズムの促進と台湾市場における新たな誘客需要の創出を図ってまいりました。

【大会概要】

名 称：EASL 2025-26 SEASON

日 程：2025年10月8日（水）

場 所：台北和平籃球館（台北市）

内 容：沖縄観光プロモーション（LEDビジョン広告、アンケート実施、ノベルティ配布 ほか）

アンケート結果と考察

試合会場となった台北和平籃球館は、市街地からのアクセスも比較的容易であり、平日夜間にもかかわらず6,045名（収容6,958名）が来場するなど、熱気あふれる観客の姿が見られました。

琉球ゴールデンキングスの人気も非常に高く、ユニフォームを着用した現地ファンも多数確認されたほか、2月の沖縄開催試合に関心を示す来場者も多く見受けられました。

【アンケート回答結果】（対象：台湾・海外在住者 回答数：336件）

- ・20代が最多(38.1%)で、次いで30代(35.1%)が多く、若年層中心の構成
- ・約半数以上が「スポーツ観戦旅行の経験あり」と回答
- ・滞在日数は日帰りが最多(28.7%)で、次いで3泊4日が多い(25.6%)
- ・旅行消費額は5万円未満が大多数(34.9%)で、次いで10万未満が多い(29.7%)
- ・沖縄でのスポーツ観戦の関心も非常に高く、「沖縄らしい演出」への期待が多い

これらの結果から、台湾におけるスポーツ観戦層は若年層中心であり、今後のプロモーションでは滞在日数の延伸や旅行消費単価の向上を促す取り組みを行ってまいります。

今後の展望について

台湾ではバスケットボール観戦需要が非常に高く、若年層を中心とした熱心なファン層が存在することが明らかとなりました。

OCVBでは、今回のデータを踏まえ、今後はバスケットボールをはじめ、さまざまなスポーツをフックとした沖縄観光プロモーションを継続的に展開してまいります。スポーツ観戦を通じて「沖縄に行く理由」を創出し、東アジア地域におけるスポーツツーリズムの発展および沖縄ブランドのさらなる浸透を図ってまいります。



【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 国内プロモーション課 担当：外間・宮城

TEL：098-851-9678

Mail：sports@ocvb.or.jp

観光の仕事 魅力発信動画を制作・公開について

観光業を選ばれる産業へ！観光の仕事 魅力発信動画を制作・公開しました

OCVBでは、沖縄県より「令和7年度観光人材育成・確保促進事業」を受託しており、観光業のイメージ向上や、観光業を目指す学生/求職者を増やすことを目的に、観光の仕事の魅力を発信する動画を作成いたしました。就職活動関連イベント等での学生への業界説明、キャリア教育などでぜひご活用ください。



■公開動画一覧

【観光の仕事】魅力発信動画_15秒バージョン

URL : <https://www.youtube.com/watch?v=0nXjz8yOybQ>

【観光の仕事】魅力発信動画_30秒バージョン

URL : <https://www.youtube.com/watch?v=2WQ1mGVFdjA>

【観光の仕事】魅力発信動画_60秒バージョン

URL : <https://www.youtube.com/watch?v=WITZfkitUVw>

※本動画はご自由にご視聴・共有いただけます。

ただし、無断でのダウンロードや再編集、素材としての利用はご遠慮ください。

■動画の放映について

OCVB観光人材育成センターが運営する「[育人（はぐんちゅ）](https://okinawa-hagunchu.jp)」サイトのほか、学内デジタルサイネージ広告での放映を行っています。

- ・琉球大学（中央食堂、北食堂、共通教育棟1号館1階、学生寮共用棟、キャリア教育センター前）
- ・沖縄大学（本館地下1階多目的学習室、本館1階ホワイエ・沖大ホール、1号館1階生協前）

育人サイトでは、観光業への就職活動に役立つ情報を紹介しています。

こちらも併せてご確認ください。

[観光業への就職を考えているみなさんへーお役立ち情報まとめー](https://okinawa-hagunchu.jp/news/2049/)

URL : <https://okinawa-hagunchu.jp/news/2049/>

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 受入推進課 観光人材育成センター

担当：具志堅・知名

TEL : 098-859-6129

Mail : ikusei@ocvb.or.jp